

キヤノン株式会社
2024年経営方針説明会

プリンティンググループ

2024年3月8日

代表取締役副社長 CTO プリンティンググループ管掌

本間 利夫

Canon

本資料で記述されている業績見通し並びに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

PhaseVIの戦略・取り組み & 成果と課題

PhaseVIの戦略・取り組み

- 事業戦略

事業構造改革の強化により既存事業分野の収益の拡大と新規事業分野の売上の拡大を実現する

ものづくり革新 グループ連携の深耕による商品開発力の強化

プラットフォーム化改革の全展開による商品力の強化

販売革新 スマート化商品の拡大による販売の高能率化

グループシナジーによる販売力の強化



2023年（まで）の成果と課題

- ・ グループ連携による商品開発力の強化により、シナジー領域での次世代新製品開発が大きく進展
- ・ ものづくり革新の進展で、本質性能が進化した商品のラインアップ刷新・強化が進み、市場評価が向上
- ・ デジタルサービス商品の売上は着実に伸ばしているが、業種別展開の更なる拡張が必要

事業戦略と重点施策

事業戦略

事業構造改革の強化により既存事業分野の収益拡大と新規事業分野の売上拡大を実現

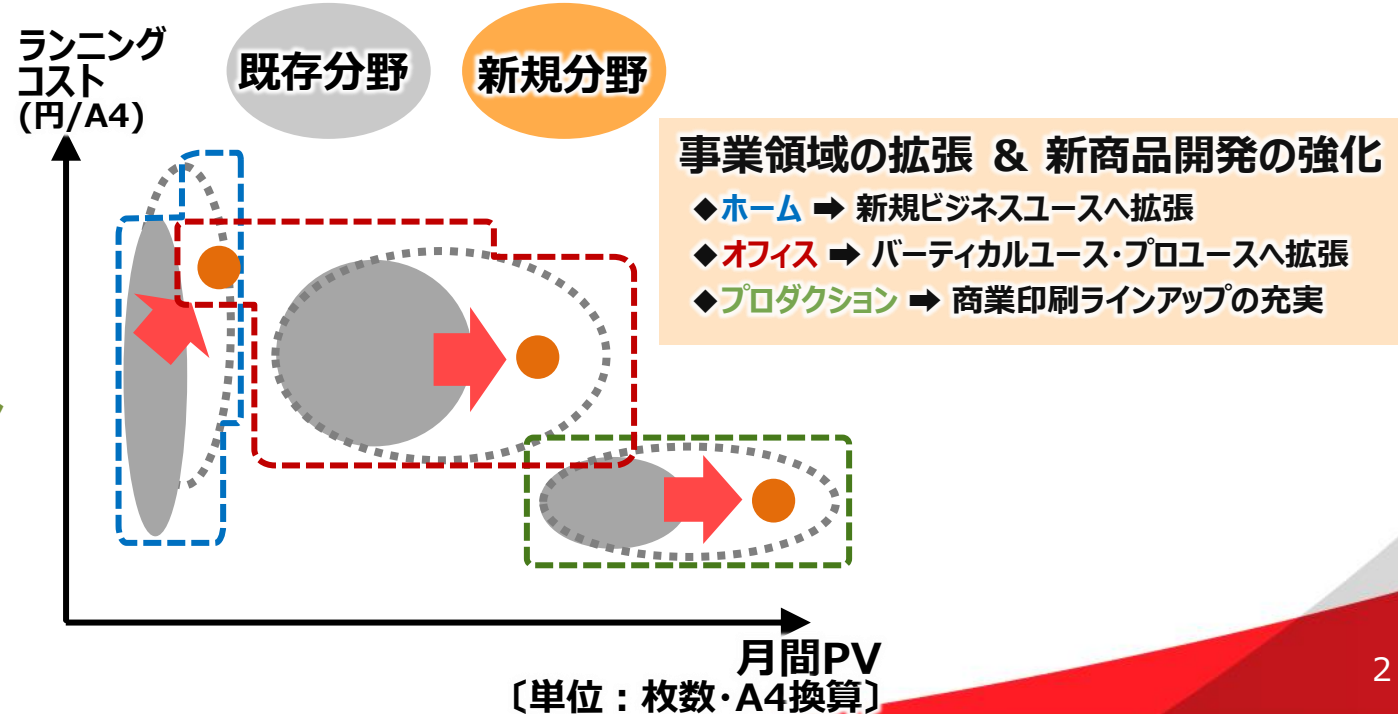
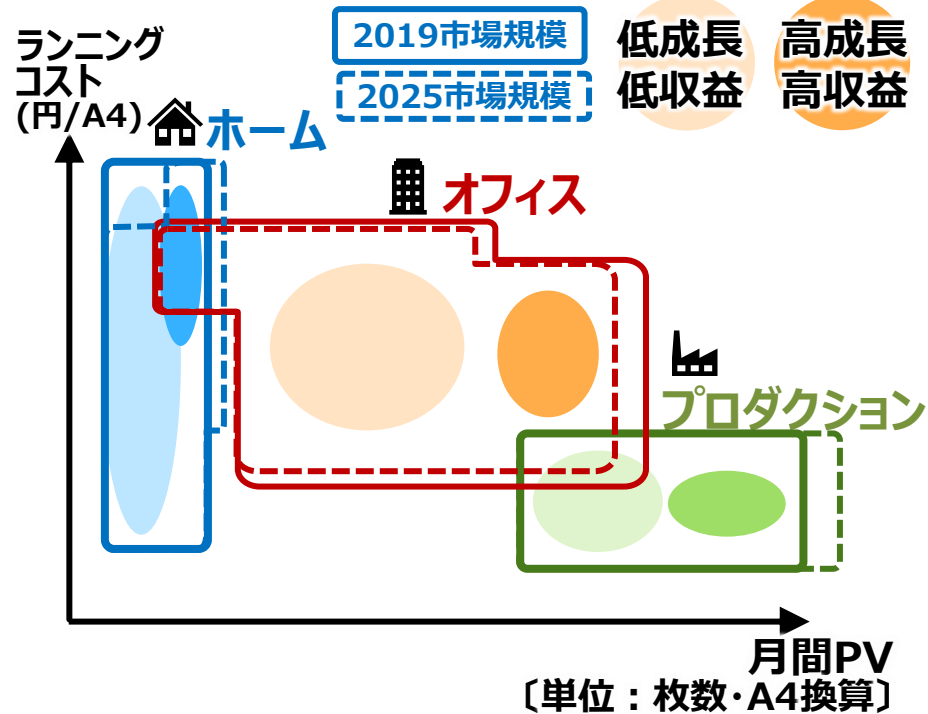
重点施策

■ものづくり革新

- ・グループ連携の深耕による商品開発力の強化
- ・プラットフォーム化改革の全展開による商品力の強化

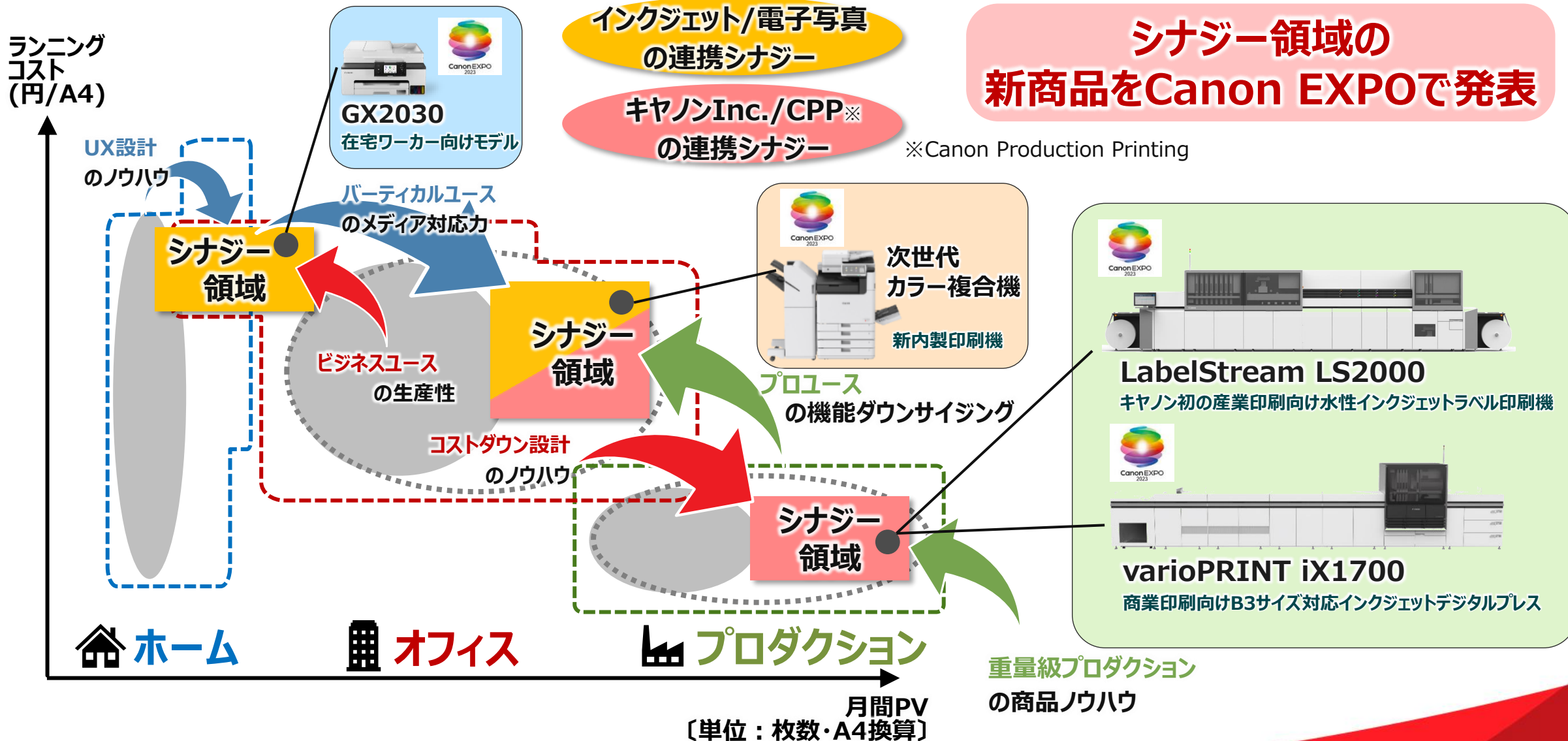
■販売革新

- ・スマート化商品の拡大による販売の高能率化
- ・グループシナジーによる販売力の強化



ものづくり革新による新商品の立上げ

■ グループ連携の進展と、プラットフォーム化改革の進展



【資料】 プロダクション市場とキヤノンの商品ポジション

市場

商業印刷

*PV:プリントボリューム(A4換算)

	2022年	CAGR	2025年
アナログPV	23.1兆枚	▲3.1%	21.1兆枚
デジタルPV	0.8兆枚	+4.0%	0.9兆枚
デジタル比率	3.4%		4.2%

産業印刷

	2022年	CAGR	2025年
	11.1兆枚	+2.0%	11.7兆枚
	0.1兆枚	+21%	0.1兆枚
	0.7%		1.2%

セグメント

シェア

(22年 WW台数)

A3+機

A社 (25%)
<u>キヤノン (25%)</u>
B社 (23%)

B3機

C社 (41%)
B社 (29%)
<u>キヤノン (25%)</u>

B2機

C社 (65%)
A社 (22%)
I社 (13%)

連帳機

<u>キヤノン (30%)</u>
D社 (17%)
C社 (15%)

ラベル

A社 (33%)
C社 (30%)
G社 (9%)

紙器

C社 (55%)
F社 (45%)
—

段ボール

E社 (26%)
H社 (22%)
C社 (17%)

キヤノン

既存分野

V1350 
V1000 
V900 
2022発売

新規分野

varioPRINT iX3200 
varioPRINT iX1700 
Canon EXPO (2023.10)発表

既存分野

ProStream 
ColorStream 

新規分野

LabelStream LS2000 
Canon EXPO (2023.10)発表
LXシリーズ 

(出典：調査会社データ + 自社推定)

【資料】

プロダクション市場への商品の拡大

商業印刷

A3+機

B3機


B2機

連帳機

産業印刷

ラベル 

紙器 

段ボール 

既存分野

新規分野

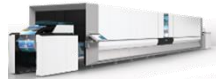
既存分野

新規分野

V1350 

varioPRINT
iX3200 

NEW



ProStream

V1000 

varioPRINT
iX1700 

V900 


ColorStream



LabelStream
LS2000

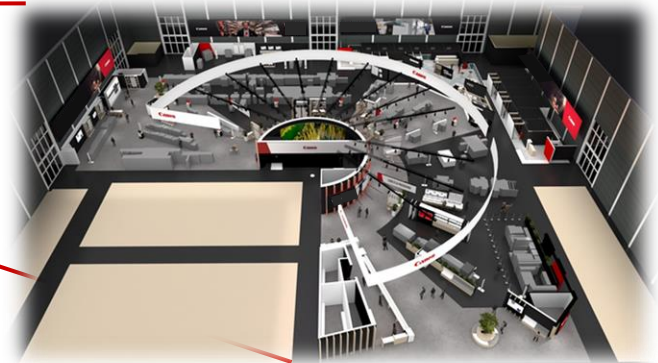
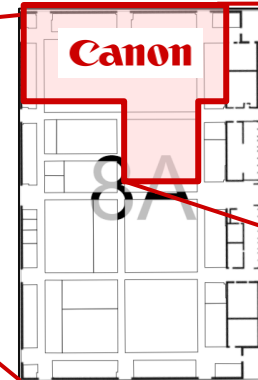
NEW



2024年 drupa

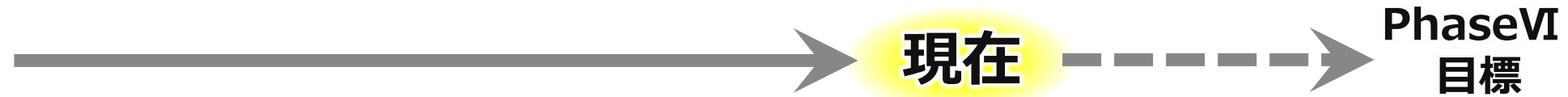
05/28-06/07
独・デュッセルドルフ

【 日系メーカーで
最大規模の展示 】



ものづくり革新による商品開発の進展

■ プラットフォーム化改革の全展開による商品力の強化



グループ
統合開発

統合要素技術開発

IJ/電子写真の連携シナジー
キヤノンInc./CPPの連携シナジー

事業領域の拡張 & 新商品開発の強化

新商品
ラインアップ
展開

本質性能の進化で
ラインアップの刷新&強化

新規要素技術プラスで
最適商品の開発を実現

オフィス商品のPF化

商業印刷商品のPF化

PFの新規分野商品展開

次世代カラー複合機
プラットフォーム+新技術

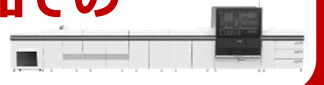


ものづくり
革新

プラットフォーム化改革 1

プラットフォーム化改革 2

プロダクション商品での
単館保証



※SCEを支える開発基盤として
プラットフォームを構築

完全品質・原価低減
開発スピードアップ・バリエーション拡大

2023年 J.D.パワー社のカラー複合機顧客満足度調査で

No.1をダブル獲得



ラージ&ミドルオフィス企業※1

総合顧客満足度 1位



スモールオフィス企業※2

総合顧客満足度 1位








※1:従業員数30名以上の企業 5,672社調査

※2:従業員数5名以上30名未満企業 2,125社調査

■ W.W.マーケットシェアの状況と目標

(出典：調査会社データ + 自社推定)

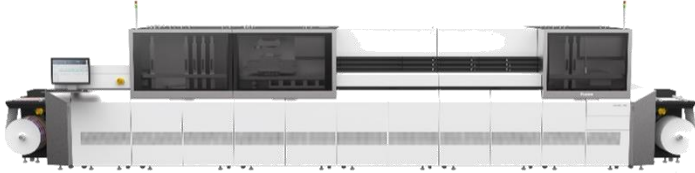
	2022年	2023年	PhaseVI 目標
プロダクション			
・商印 連帳	<u>1位</u> 30%	開発連携による商品力強化 +4pt 34%	UP 
・商印 A3+	<u>2位</u> 25%	imagePRESS Vシリーズ 拡販でシェアNo.1獲得 +2pt 27%	UP 
・大判 GA/CAD	<u>2位</u> 30%	商品ラインアップ強化 +1pt 31%	UP 
オフィス			
・A3機 CL/BW 計	<u>1位</u> 18%	本質性能強化で 3年連続シェアNo.1 ±0pt 18%	UP 
プロシューマー			
・IJ ホーム・ビジネス	<u>3位</u> 27%	商品系列の再構築 ±0pt 27%	UP 

【資料】

プリンティンググループの代表的商品群

プロダクション

・産業印刷 LabelStream



・商業印刷 連帳 ProStream



・商業印刷 B3 varioPRINT



・大判

Colorado



imagePROGRAF



・商業印刷 A3+ imagePRESS



プロシューマー

PIXUS



Satera



imagePROGRAF



オフィス

imageRUNNER ADVANCE DX



進展 プラットフォーム化改革と統合要素技術開発の進展(1)

■ 大規模プロダクション商品での新しい展開

プラットフォームの考え方

商品をクラスに分類し、

- ①クラスごとに**骨格を標準化**
- ②各プラットフォームで**組立工程を共用**
- ③各プラットフォームで**デジタル設計資産を共用**

完全品質

原価低減

開発スピードアップ

バリエーション拡大

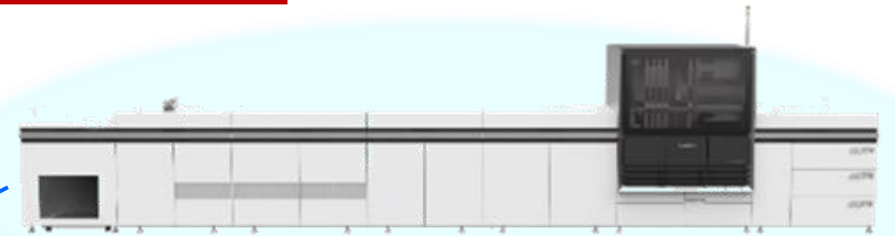
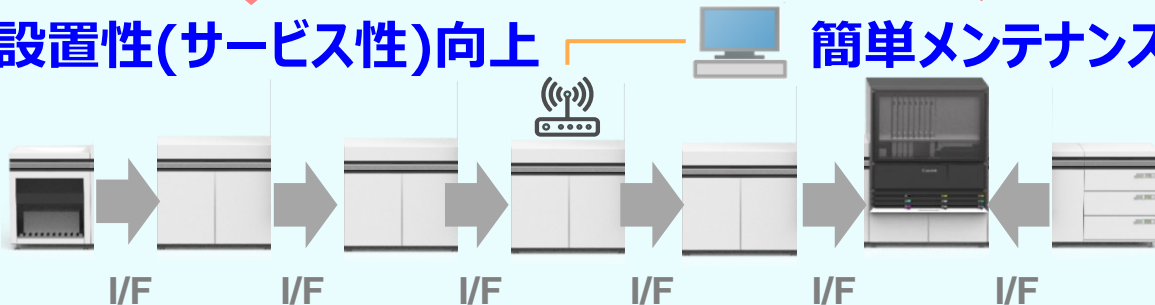
大規模プロダクション商品の新基軸展開

プラットフォームアーキテクチャによる**単館保証**

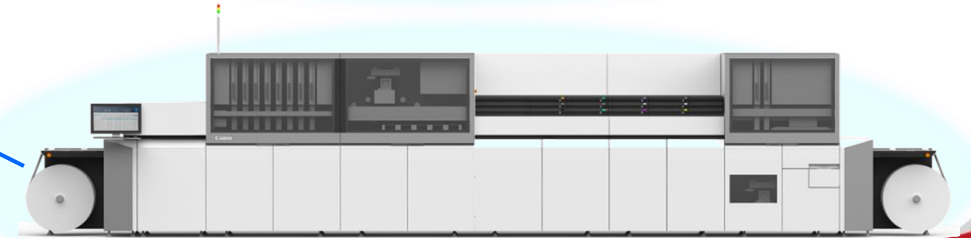
個別の単館（機能モジュール）を独立して機能/性能保証

設置性(サービス性)向上

簡単メンテナンス



varioPRINT iX1700



LabelStream LS2000

■ スマート化商品による販売の高能率化への展開

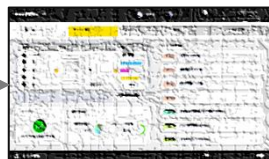
安心・安全・簡単・快適の境界なき追求

Data-driven Service Foundation

23年 ISO/IEC27001,27017取得

Step1 進化したハードウェア

<プロダクション>



・機器管理情報

<オフィス>

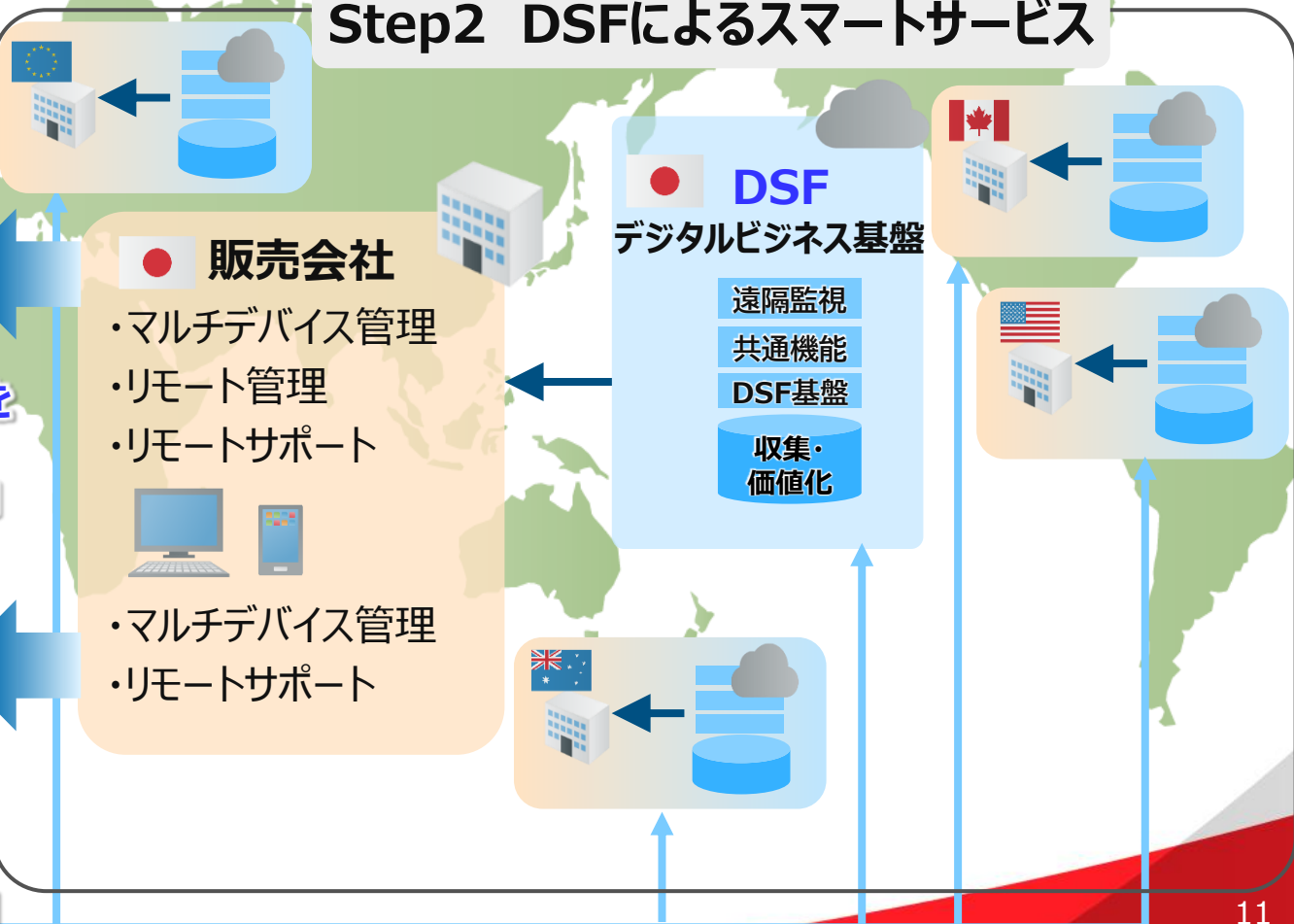


・ダッシュボード表示

管理者
機器管理業務を
スマート化
〔安心・簡単に〕

サービスマン
保守業務を
スマート化
〔安心・簡単に〕

Step2 DSFによるスマートサービス



GX対応ものづくりの推進

ライフサイクルの『脱炭素』『資源循環』に対応

- 製品に実装する環境スペック
- サプライチェーンに実装する環境スペック
- ◆ グリーン施策

2023年進捗した項目

再生商品/補給商品生産拡大

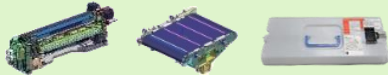
・再生商品

欧州/再生機
新シリーズ発売
(4月/12月)



・補給商品

サービスユニット



日米欧の再生拠点を活用

オフィス機器の環境配慮設計



IR-ADV DX
C3900Fシリーズ
(23年5月発売)

消費電力
最大 約15%低減

回収トナー容器
交換印刷可能枚数
約2倍に

廃棄・リサイクル

- ◆ 再生機
- ◆ 定期消耗ユニットのリユース
- ◆ 消耗品のリフィル対応

使用・維持

- ◆ パーツ・ユニットの長寿命化
- ◆ 低消費電力

流通

- ◆ 脱炭素物流
- ◆ 廃棄レス梱包

脱発泡スチロール梱包拡大



オフィス製品、
プロシューマー製品に拡大

パルプモールド・段ボール梱包へ

原材料

- ◆ 製品の軽量化
- ◆ 再生材の使用

再生プラスチック使用率アップ

2024年製品から順次拡大



再生プラ



主に
外装に展開

製品CFP算出/外部公開拡大

公開数 387機種
(23年末時点)

製品名	CFP算出項目	単位	値
IR-ADV DX C3900F	CFP算出項目	kg-CO ₂ e	3,000
	原料/部品	kg-CO ₂ e	2,000
	エネルギー	kg-CO ₂ e	74
	輸送	kg-CO ₂ e	94
IR-ADV DX C3900F	CFP算出項目	kg-CO ₂ e	6,000
	原料/部品	kg-CO ₂ e	4,700
	輸送	kg-CO ₂ e	1,300

PET再生プラ開発

回収しやすいリサイクルPET
難燃でポリカ並みの強度

リサイクルPET + 添加剤
(※23年EXPO展示)

再生可能エネルギー導入率アップ

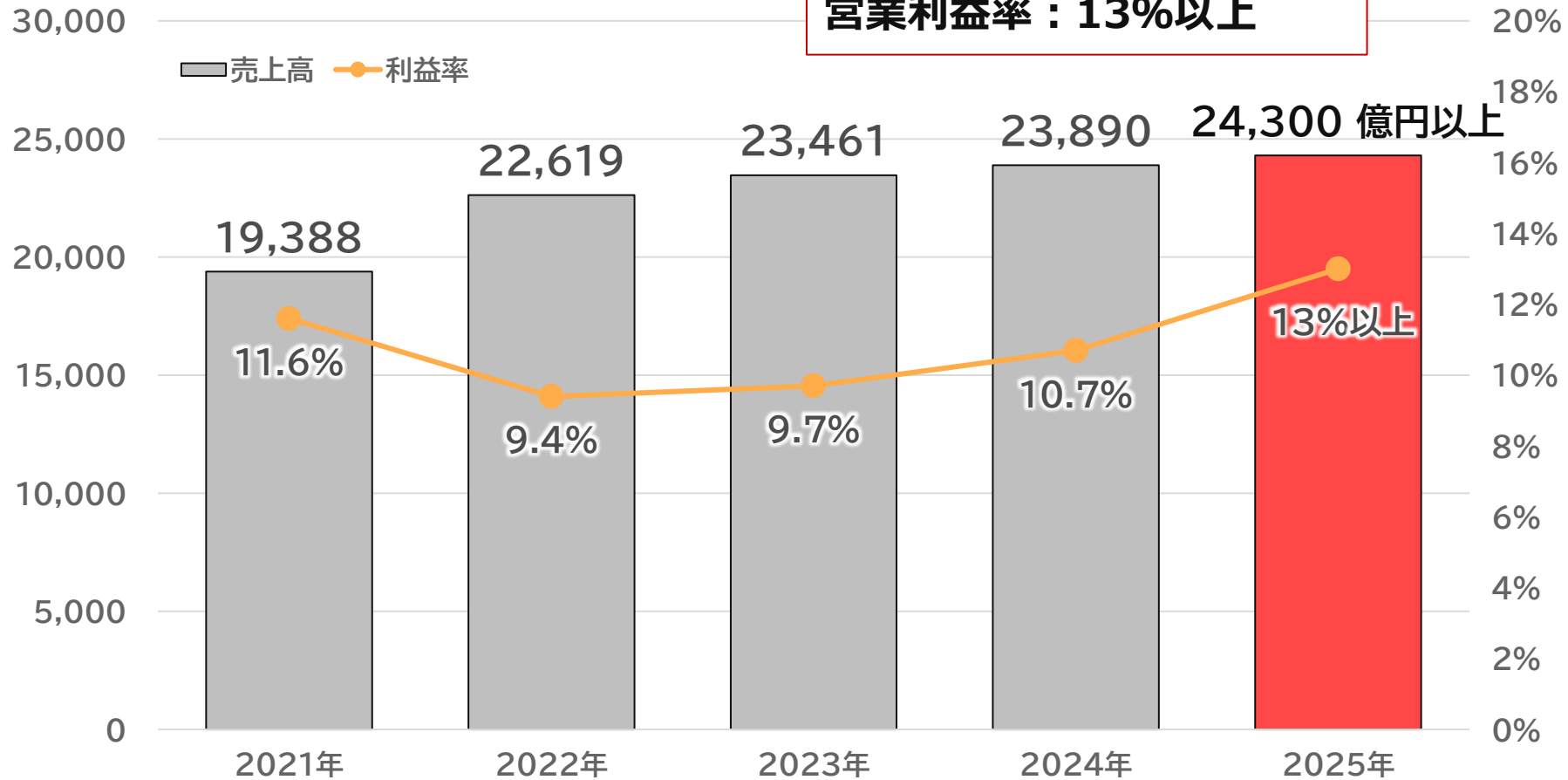
2023年、生産拠点5か所で
使用電力 100%再生エネルギー化
(タイ・ベトナム・中国)



2025年目標（プリンティンググループ）

売上高(億円)

利益率



2025年目標

売上高：2兆4,300億円以上

営業利益率：13%以上